

地域福祉計画改定に伴う区民アンケート調査について

1. 実施目的

社会福祉法に基づく「第二期品川区地域福祉計画」（以下、「地域福祉計画」という。）と、まちづくりのソフト施策を展開するための総合的な指針として策定された「品川区すべての人にやさしいまちづくり推進計画」（以下、「やさしいまちづくり計画」という。）は、密接な関係を持っている。

そこで、平成30年度に計画期間満了となる「やさしいまちづくり計画」の改定にあわせて「地域福祉計画」（平成32年度末満了）も見直しを行い、両計画を統合することにより、総合的な地域福祉の推進を図る。

来年度実施する計画改定作業を効果的かつ効率的に行うために、今年度は事前の区民アンケートにより日常生活や社会参加の状況などを調査する。

2. 地域福祉計画について

平成30年4月施行の社会福祉法の中で、これまで任意とされていた地域福祉計画の策定が、市区町村の努力義務とされた。また、高齢者、障害者、児童その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項を一体的に定め、各個別計画の上位計画として位置づけられた。

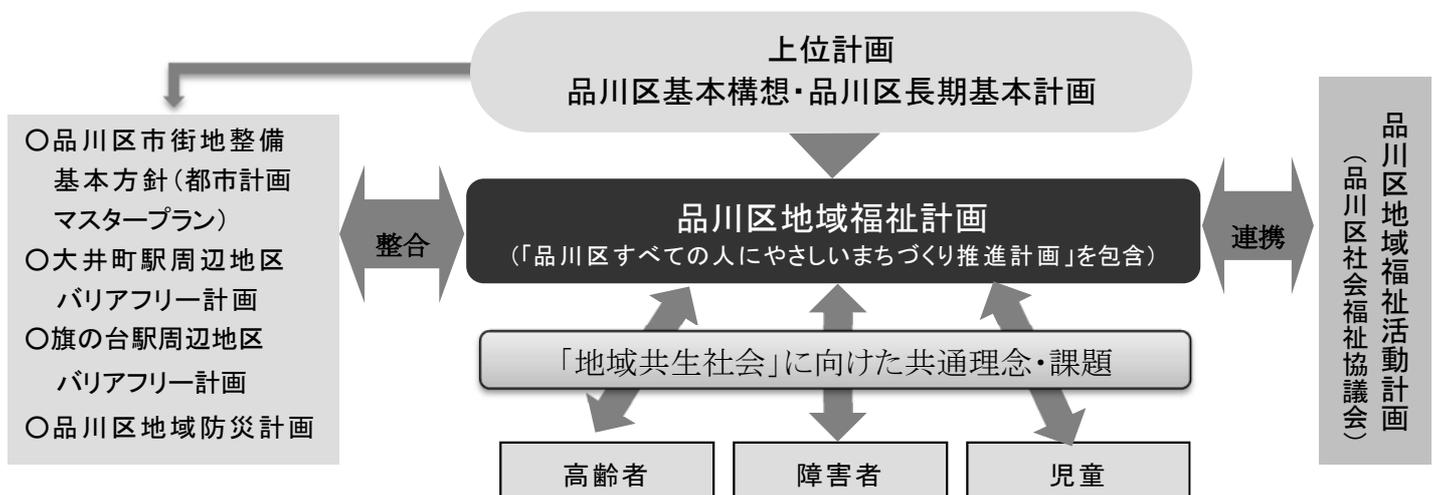
(1) 地域福祉計画（現行計画期間：平成23年度～32年度）

地域での連携による生活課題の解決や、対象者別計画では解決できない横断的な取組の推進を目的に策定。

(2) やさしいまちづくり計画（現行計画期間：平成20年度～30年度）

すべての人が快適で安全・安心にすごせるまちづくりに必要なハードおよびソフトの施策・事業を総合的・体系的に示し、区民・事業者・区の協働のもとに推進することを目的に策定。

■ 新・品川区地域福祉計画の位置づけ（案）



3. 調査概要

(1) 対象者

区内在住の20～79歳の方 5,000人

※年齢、性別、住所などの比率を考慮して抽出

※サンプルは1,000件程度（対象者の20%）を収集予定

(2) アンケート項目案

別紙参照

(3) 周知

広報しながわ11月11日号掲載、区ホームページ

(4) 発送時期

11月中旬（対象者のみへ郵送）

(5) 調査期間

11月30日（木）まで

(6) 調査・分析委託業者

みずほ情報総研(株)

代表取締役社長 西澤 順一

東京都千代田区神田錦町二丁目3番地

品川区の地域福祉に関するアンケート調査のお願い（案）

日ごろ、区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、品川区では、だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることをめざし、平成20年に「品川区すべての人にやさしいまちづくり推進計画」、平成23年に「第2期品川区地域福祉計画」を策定し、推進してきました。

この度、二つの計画を統合し、新たな地域福祉計画として改定する予定です。

今回の調査は、次期計画に反映させるため、区内にお住まいの20歳以上の方から5,000人を無作為に抽出し、無記名で回答をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、すべて統計処理され、回答者が特定されることはありません。また、統計の目的以外に使用することは一切ありません。

統計処理後の調査結果は、品川区の広報紙やホームページにて公開いたします。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、計画策定とアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年11月

品川区長 濱野 健

ご記入にあたってのお願い

1. お送りした封筒のあて名のご本人がご回答ください。何らかの理由でご本人にご記入いただけない場合は、他の方がご本人の立場で代筆していただいても構いません。
2. **調査票、返信用封筒へのご記名は必要ありません。**
3. 回答は、質問ごとに用意した選択肢の中から、あなたのお考えにあてはまる番号に○印をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
4. 一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は（→）で示したり、説明文がありますので、指示にしたがってお答えください。
5. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル、万年筆でお願いいたします。
6. ご記入がすみましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

11月30日（木）までに郵便ポストに投函ください。

※障害のある方で代筆者がいない場合などは、個別に対応させていただきますので下記へお問い合わせください。

【この調査についての問い合わせ先】 品川区 福祉部 福祉計画課 地域包括ケア推進係
TEL：03-5742-6914 FAX：03-5742-6797

2. 地域共生社会*の実現に向けて

*地域共生社会とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『自分のこと』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会です。

問7 あなたは、普段生活をする中で、以下のようなことを感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者に対する偏見	5. 性別により他人から特定の役割を期待される
2. 認知症のある人に対する偏見	6. 1～5について特に感じたことはない
3. 障害のある人に対する偏見	7. その他()
4. 国籍による偏見	

問8 あなたは、日常生活で困ったことがあった場合、どのような人や機関に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親類	10. 社会福祉協議会 (ボランティアセンター、さわやかサービスなど)
2. 友人・知人・上司・同僚	11. 町会・自治会
3. 近所の人	12. 地区の民生委員・児童委員・人権擁護委員
4. 区役所 (地域センター、保健所、保健センターなど)	13. 弁護士、司法書士、成年後見人などの専門家
5. 支え愛・ほっとステーション	14. インターネットの相談サイト、SNS (LINE、Twitter、フェイスブックなど)
6. 警察・交番	15. わからない
7. 学校、保育所、幼稚園	16. だれにも相談しない (相談できる人はいない)
8. 児童相談所	17. その他()
9. 社会福祉施設 (在宅介護支援センターなど)	



3. バリアフリー*やユニバーサルデザイン*について

*バリアフリーとは、高齢者や障害のある人などが日常生活や社会生活の中でバリア（障壁）となるものを取り除いていこうという考え方です。

施設や設備などのハード面の整備や、多様な手段による情報提供（情報のバリアフリー）に加えて、困っているときはお互いに支え合おうとする人々の配慮や気遣い（心のバリアフリー）が行われることにより、だれもが平等に社会参加できる機会が確保されることを目指しています。

*ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人々が利用可能なように利用者本位、人間本位の考え方にたって快適な環境をデザインすることです。

問 13 あなたは、すべての人が暮らしやすいまちづくりを進めるためには、どのようなことを充実したら良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

建築物	1. 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーターの整備 2. 車いすの人、乳幼児を連れた人などだれもが使いやすいトイレの整備
道路	3. 歩道や道路に障害物（看板や自転車、電柱など）がなく、歩きやすいこと 4. 点字ブロックや視覚障害者用の信号機の整備
情報案内	5. 大きな文字、絵、複数の言語を用いただれもが分かりやすい案内標示の設置 6. バリアフリーに配慮された施設などをまとめたホームページの整備
その他	7. 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなどが増えること 8. 使いやすいユニバーサルデザイン製品などが増えること 9. その他（ ）

問 14 心のバリアフリーを進めるために、あなたが日常的に取り組めることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 街中で困っている人（高齢者・障害者・妊婦・外国籍の人など）を見かけたら、声をかける
2. 誘導用ブロックの上や案内標示などの前に自転車や荷物を置かない
3. 電車やバスで高齢者や妊婦に席を譲る
4. 車いすやベビーカーを押している人などの階段や段差の上り下りを手伝う
5. 重い荷物を持っている高齢者などを手伝う
6. その他（ ）



4. 地域活動やボランティア活動について

問 15 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事に参加をしていますか。（項目ごとに1つに○）

内容	よく活動している (していた)	活動したことがある	活動したことはない
町会・自治会の活動	1	2	3
子ども会やPTAの活動	1	2	3
高齢者クラブの活動	1	2	3
地域でのボランティア活動	1	2	3
防災訓練、交通安全運動	1	2	3
おまつりや運動会などのレクリエーション活動	1	2	3
ひとり暮らし高齢者の安否確認や話し相手	1	2	3
地域内の防犯パトロール	1	2	3
地域（高齢者・子育て）サロンの運営	1	2	3
家事ボランティア（ごみ出し、買い物代行、季節家電の出し入れなど）	1	2	3
病院など外出時の付き添いボランティア	1	2	3
ロータリークラブ、ライオンズクラブなどの社会貢献活動	1	2	3
その他（ ）	1	2	3

問 15-1 問 15 でいずれかの活動に「1. よく活動している（していた）」または「2. 活動したことがある」と答えた方におたずねします。あなたが活動する理由は何ですか。（3つまでに○）

1. 自分の経験や技術を活かすため	6. 自分の健康のため
2. 色々な人と交流するため	7. 自分の生きがいのため
3. 社会貢献や人の役に立つため	8. 知り合いに誘われたため
4. より良い地域にするため	9. 活動自体が楽しいため
5. 自分の所属する学校や職場で活動が行われているため	10. 少額でも報酬をもらえるため
	11. その他（ ）

問 15-2 問 15 ですべての活動に「3. 活動したことはない」と答えた方におたずねします。あなたは、今後、活動してみたいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 活動してみたい | →問 15-3 へ |
| 2. 興味はあるが今はできない | →問 15-3 へ |
| 3. 活動したくない | →問 15-4 へ |
| 4. その他（ | ） |

問 15-3 問 15-2 で「1. 活動してみたい」または「2. 興味はあるが今はできない」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような環境や条件が整えば活動できると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 身近なところに活動の場があること（家で作業できることも含む） | |
| 2. 自分にあった日時に参加できること | |
| 3. 団体や活動内容（場所・日時）に関する情報を簡単に入手できること | |
| 4. 子どもの世話や親の介護・介助などに一段落つくこと | |
| 5. 働き方改革が進み、仕事とプライベートのバランスがとりやすくなること | |
| 6. 既に活動している人からの声かけがあること | |
| 7. 友人や家族と一緒に参加できること | |
| 8. 家族や職場の理解・協力が得られること | |
| 9. 自分の所属する学校や職場で活動が行われていること | |
| 10. 少額でも報酬をもらえること | |
| 11. その他（ | ） |

問 15-4 問 15-2 で「3. 活動したくない」と答えた方におたずねします。活動したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|-------------------------|---|
| 1. 仕事が忙しいため | 8. 新しい活動場所に溶け込める自信がないため | |
| 2. 家事が忙しいため | 9. 地域の人と関わりたくないため | |
| 3. 育児が忙しいため | 10. 活動の場所や内容がわからないため | |
| 4. 介護が忙しいため | 11. 家族や職場の理解・協力がいないため | |
| 5. 興味がないため | 12. 地域活動などは必要ないと思うため | |
| 6. 健康や体力に不安があるため | 13. その他 | |
| 7. 経済的負担があるため | （ | ） |



おはようございます！

いってらっしゃい。



